第15回　ゆずり合い　助け合い　学び合う会　感想文

☆長い間、沖縄を訪れたいと願いつつ、実現できませんでしたが、今回はじめて沖縄へ行き、わびあいの里の学習会へ参加できたことを本当に感謝しています。2日間のプログラムは非常に密度が濃く、勉強不足の私には容易に理解できていないと思いますが、特に強く心に刻まれたことを記します。

(1)　伊江島がオスプレイの発着訓練により、オスプレイの排出熱。騒音により住民への苦痛とともに、農作物被害、牛への深刻な影響が出ている実態を知らされ、これはどうしても反対しなければと痛感しました。

(2)　石原昌家氏の講演と、そのあとの金城実氏との対談から認識を新たにしたことは、沖縄戦に巻き込まれ、犠牲となって、その極に愛する者に手をかけ、自ら命を絶っていった人には、いかなる意味においても「集団自決」ということはあり得ない、「強制集団死」と言わなければならない、ということは全くその通りだと思いました。それが「援護法」さらに「靖国合祀」とのからみで「集団自決」とされていることが沖縄の方々にさらなる複雑な苦難、苦痛を与えていることを思い、胸が痛む思いをしました。

(3)　阿波根昌鴻資料調査会の岡本直美さんの報告を通じて、阿波根昌鴻さんの非暴力平和思想と反戦・反基地闘争の歩みの記録を継承すべき非暴力平和への遺産として調査し、整理し、保存することに、わびあいの里に関わる皆さんが、どれほどの努力、忍耐、努力を尽くされているかと垣間見ることが出来、皆さんに敬意の念を覚えました。

(4)　謝花悦子さんの閉会の言葉から私の心を捉え、深く心に刻んでいきたいと思った言葉を記します。

「平和の武器は学習すること」

「理解は力なり。理解は信頼となり、信頼は力となる」

「これから生まれてくる子に本当のことを伝えていくこと。教育が（間違えれば）どのようにして、人をごまかすのかを知って、本当のことを教え教育すること」

学習会二日間の行事のために、献身的にお働きになり、準備をされ、参加者の迎えから最後の時まで、温かく応対していただき、すべてのプログラムの進行に尽くされた皆様に心から感謝したいします。

☆再会できる喜びと新しい友人との出会いをうれしく思いました。石原昌家先生のご指摘は、これまでもやもやしていたことの点と点がつながったという学びでした。人々の弱みにつけこんで「金」でごまかそうとする権力側の姿勢は注意しないとだまされる危険があることがわかりました。反原発と反基地の双方の点がつながり、両方ともその問題をしっかり反対していかねばならないのですね。ありがとうございました！

☆伊江島でのデモは初体験でした。村民や地区の皆さんにどのように映ったか興味があるところです。援護法の拡大適用について、どこかで読んだ感じがありましたが、はっきりと（かなり）構造を理解したと思いますので、改めて本を読ませていただきます。参加者からの報告にも心を打たれるお話が多くありました。山城さんらへの弾圧に言及されたが多かったのも嬉しく思いました。頑張りましょう。

☆オール沖縄でいろいろな方が集い、平和な日本に向けて考えたことは、大変有意義でした。日本の政治は混迷し、矛盾が噴き出しています。特に沖縄の地であからさまな圧力や矛盾は日本の将来の行方を決めてしまうことだと思います。沖縄には何回も来れませんが、自分の住む地域での様々な出来事から目をそらさず、頑張りたいと思います。

☆「集団自決」の経緯、「援護法との関連」など本質的な話を聞き、これまでの認識の弱さを感じました。そして、この話が大阪の森友学園の話につながっていることなど、石原名誉教授の話に感銘しました。

☆真謝公民館～団結道場までデモが出来てよかった。
　オスプレイが伊江島に来ることになった時に講演会をすることはタイムリーでよかった。
　石原先生の話は、はじめとても難しい大学のお話しのようだったけど、だんだんつながりが解けてきた。今、私達は戦争睡眠にかけられているんですよ、と繰り返し伝えてくれたことがよくよくわかってきた。本当にその通り、そして恐ろしくなった。しっかり目を開き、耳をすまし、選びとる、だまされない！
　金城さんの力強いメッセージ！！心にしみました。力強いおじいです、私達のためにありがとうございます。
　面踊り、本土でも是非やっていただきたいです！！

☆土曜日の「音」の学習会があることを知らずにびっくりしました。今までデモがなかったですが、今回は銀座デモに匹敵する？デモがとても楽しかったです。「村民の会」が出来て良かったと思いました。

☆「集団自決」ではなく「強制集団死」だった、ということで、すんなりわかったつもりです。前から、それは「集団自決」ではなく「強制されたから死んだのでしょう」とは思っていました。積極的に戦争に参加していったかどうか？参加させられたのに「準軍属」となっていることの異常さ。・・・反面、徴兵不合格のために指を切った方のことを「わびあいの里」で知りました。自分で出来ること、一人でも出来ること、・・・考えています。
☆参加できて良かったです。色々な方のお話しを聞けたのが本当に良かったです。

☆大変濃い内容でした。ありがとうございました。辺野古、高江については、東京でも大きくとりあげ、集会もデモもしていますが、伊江島のオスプレイの問題は話題になりません。久々に現地に来られてよかったです。東京に持ちかえります。糸数壕の大砲の件、知らなかったのでびっくりしました。

☆石原昌家さんの講演大変興味深かったです。「集団自決」ということばが自明のものではなく、戦後今日に至るまでの中で構築されて来た〝神話〟であること、大変おどろきました。この神話を信じることで、戦争体制に再び加えられてしまうのだということにも驚きを感じました。

☆謝花さんが言われた「年々参加者が増えている」との声に当然だと思います。スタッフの方々の無駄のない動きに感心し、わびあいの里が高江、辺野古へ結ぶ拠点としての役割を強め、沖縄における知識吸収とやすらぎの場となっていくことを望みます。

☆２会場共に聞きづらかった。残念！

☆初参加でしたが石原先生、金城実さんのお話が聴けてとても参考になりました。資料でいただいたDVDやCDも地元に戻ってからの良いお土産になります。友人たちに観せたいと思います。集団自決、集団強制死、それぞれの言葉の持つ意味の深さに驚きました。学習する中で真実を見抜く目を少しずつ養っていけたらと思いました。充実した二日間ありがとうございました。

☆辺野古の門前集会と今回の学び合う会に参加された事を大変喜んでいます。今、私は九州玄海原発の再稼働阻止のための裁判闘争をしています。昨日の金城実氏の発言、基地撤去と原発をなくすことが未然の子や孫の責任と考えて頑張っていきます。内地に帰って沖縄の現状をしっかり伝えます。

☆講演及び対談を聞き、沖縄ではまだまだ戦争の傷を引きずらなければならない現状を知り、その上に未だに基地をかかえ差別されていることを知り、大変勉強になりました。個の沖縄の痛みを微力ながら福岡に帰りみんなに伝える努力をしたいと思います。

☆初日の石原先生のお話、金城さんの語り口に教えられる事が多く、感銘を受け、明日からまた勉強をしていかなければ・・・と思わされました。

☆伊江島でのデモなかなか味わい深いものでした。牛の鳴き声にのんびりした島の暮らしと基地との落差を感じていました。